

令和5年度 大阪府立大冠高等学校 第2回 学校運営協議会（記録）

令和5年11月24日(木)14時
本校校長室（会議）

☆運営協議会委員

	お名前	ご所属	出欠
1	西村 孝彦	関西外国語大学 英語国際学部 教授	出席
2	宮崎 義之	高槻市立 第十中学校 校長	出席
3	尾村 麻由美	コーチングラボ Coco Style 代表	出席
4	深串 有里	高槻市民生児童委員	欠席
5	土井原 美智子	大冠高等学校 冠友会 会長	欠席
6	吉川 千晶	大冠高等学校 PTA 会長	出席

次 第

- 1 配付資料の確認 等
- 2 校内授業見学（14：25～15：15）

	科目	場所
1	英語総合	3年6組
2	家庭応用	3年5組
3	英語コII	2年5組
4	数学II	2年3組
5	保健	1年6組
6	公共	1年5組

- 3 第1部 報告 進行：教頭
 - 3-1 令和5年度学校経営計画の進捗状況について（校長より）
 - 3-2 質疑応答

<委員より>

- 初めて高校の授業を見学したが、確かな学力を育む様子が見られた。
小中学校との違いは、机を合わせる活動が少ないように感じられたが、互いの意見を聞き合う場面はどのようにしているか。
A：英語や国語では、ペアでの(教科書の)音読をしたり、机を合わせるグループ活動は、(各教科の)パフォーマンス課題での取組等では行っているが、毎時間ではない。
- 以前見させてもらった授業見学では、もっと賑やかであったように覚えているが、(今日はどのクラスも)、集中して(静かに)学んでいた。
- 家庭応用の授業で、男女問わず黙々と集中して、裁縫をしている様子が印象的だった。
- 机の上に教科書を積み上げているのが気になった。何とかならないのか。
A：教科書、副読本、辞書、Chromebook と荷物が多くなっている。計画的に片付ける指導が必要。
- (授業を見させてもらった限りでは、)学年ごとに雰囲気異なり、3年生は落ち着いており、2年生は。積極的に教え合い、1年生は無邪気で物怖じしないのが印象的だった。
- アクティブラーニングが進んでおり、クラスの雰囲気が良い。
- 先生も、生徒も個性を出しながら、(授業展開を)ブラッシュアップしている印象。
- 電子黒板、一人一台端末で、さらにベターな状況を作り上げていることを感じた。

4 第2部 協議 進行：会長

4-1 令和5年度学校経営計画の進捗状況について

4-2 協議委員から学校への提言

<委員より>

- デジタル採点で教員負担が減るならば良いことである。
- 転退学があることが気になる。対策はどうか
A：相手の立場で考える経験がコロナを経て欠如している傾向。
行事後の友達関係の見取りや、個々の生徒相談等、引続き、丁寧な指導・支援を心がける。
- 人間関係トレーニングが小中学校と同様に高校でも有効なのかもしれない。
- ICTのツールをどう生かすかがポイントになっている。
- 生徒指導部より、ブレザー着用指導の難しさについての報告があった。また、遅刻指導では、電話連絡や家庭訪問など考えられるが、どのように取り組まれているのか。
A：日々の連絡については、欠席・遅刻等の連絡 Forms を活用している。また、各々の状況については、担任が保護者宛に電話連絡を行い、状況によっては、SC や SSW に相談、また、市町村(の子育て支援課等)と連携し、ケース会議を開催する等、取り組んでいる。

年間の遅刻数を何とか減らしたい。

- チーム学校として、組織的な動きを感じられる。
- デジタルトランスフォーメーション(DX)の流れで、デジタル採点など良い方向である。
- (以前から取り組んでいる)しゃべり場が、教員間の風通しを、そして学校を良くする、いい形になっていくものと感じた。
- キャリア教育を通して、社会にどうつながっていくか、きめ細かい指導が必要である。
- オーストラリアへの語学研修経験をブラッシュアップして、周りに影響を与えれば、さらに良くなる。
- 行事での努力が、学習活動につながっており、良い状態を次回に向けて続けてもらいたい。

5 諸連絡 等

5-1 第3回の日程

1月下旬～2月上旬で調整

5-2 その他